

令和7年第16回厚岸町教育委員会会議録		
招 集	日 時	令和7年12月23日 午前10時00分
	場 所	厚岸町役場 2階 庁議室
開 会	日 時	令和7年12月23日 午前10時00分
閉 会	日 時	令和7年12月23日 午前10時17分
出 席 委 員		田 辺 正 保
		濱 秀 利
		森 脇 直 美
		成 澤 幸 恵
欠 席 委 員		
会議録署名 委 員	教 育 長	滝 川 敦 善
	委 員	森 脇 直 美
会 議 出 席 者	教 育 長	滝 川 敦 善
	事務局職員	管理課長 諸 井 公 指導室長 藏 光 貴 弘 生涯学習課長 車 塚 洋 厚岸情報館長 川原田 恵 海事記念館長 菅 原 卓 己 B&G海洋センター所長 千 葉 隆 行 温水プール館長 石 田 秀 之 管理課補佐兼総務係長 余 西 弘 希
	その他の者	

議事日程

日程	議案番号	付 議 事 件
1		開会
2		会期の決定
3		前回会議録の承認
4		会議録署名委員の指名
5	(報告)	
	報告第10号	教育長の報告すべき事項について【報告済】
	報告第11号	教育長の報告すべき事項について【報告済】
6	(議案)	
	議案第53号	厚岸町教育委員会に属する事務局職員の異動について【原案可決】
	議案第54号	厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令を定めることについて【原案可決】
	議案第55号	厚岸町環境推進委員会委員の委嘱について【原案可決】
7		閉会

●**管理課長** すべき事項について」その内容をご説明申し上げます。議案書1ページをご覧ください。

厚岸町教育委員会会議規則による教育長の報告すべき事項として、教育委員会教育委員の任命について、次のとおりご報告いたします。

教育委員の任命は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき任命されておりますが、濱秀利委員の任期が本日12月23日をもって満了となり、濱氏から今期で退任したとの意向が示されておりました。

教育委員会委員の任命は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により議会の同意を得る必要がありますが、本年12月10日から開会されました、令和7年厚岸町議会第4回定例会において、教育委員の任命に対する同意を得たことから、本教育委員会で報告するものであります。

1、教育委員会委員の任命について任命する教育委員の氏名は 長谷川博一氏 であります。

委員の住所、生年月日については、記載のとおりであります。長谷川委員の任期につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第5条第1項の規定により、令和7年12月24日から令和11年12月23日までの4年間となります。

以上、簡単ですが、報告第10号の内容説明とさせていただきますので、

ご承認賜りますようお願いいたします。

●**教育長** 内容は「教育長の報告すべき事項について」であります。これから質疑を行います。

(ありません。の声)

●**教育長** なければ、これで報告第10号を終わります。

(異議なし。の声)

●**教育長** 次に、報告第11号「教育長の報告すべき事項について」を議題といたします。

職員は、提案理由と報告内容の説明をしてください。

●**指導室長** ただいま上程いただきました、報告第11号「教育長の報告すべき事項」についてご説明いたします。

議案書2ページをご覧ください。内容は、令和7年度厚岸町立中学校卒業生進路志望状況についてであります。

それでは、説明させていただきます。報告第11号別紙をご覧ください。町内中学校3校の3年生55名に対して、12月5日までに各校で「三者面談」が実施されました。その中で確認された進路志望状況についてご報告いたします。対象生徒55名のうち54名が進学を希望しており、1名が家事従事等となっております。ページ下の進路状況の内訳をご覧ください。厚岸翔洋高校への志望数は、普通科が7名となっており、全体の12.7%となっております。(昨年度26.9%)

釧路管内への進学は、釧路湖陵高等学校6名、釧路江南高等学校3名、釧路北陽高等学校6名、釧路明輝高等学校8名、釧路工業高等学校4名、釧路商業高等学校3名、釧路東高等学校1名、武修館高等学校2名、釧路工業高等専門学校1名となっており、合計が34名で全体の61.8%と

●指導室長 なっております。(昨年度61.5%)

釧路管外及びその他への希望は13名で約23.6%となっております。

今回の調査は、12月現在の状況であり、今後、推薦志願者の決定や出願等が実施されます。出願状況その他によって、希望が変更となることもあります。

以上、大変簡単であります。令和7年度厚岸町立中学校卒業生進路志望状況についての報告を終わります。

●教育長 内容は「教育長の報告すべき事項について」であります。これから質疑を行います。

●成澤委員 これ個人情報に当たる質問かもしれませんが、湖陵の定時を1人選んだ理由って、お聞きしてもよろしいでしょうかね。

●指導室長 詳細については、個人情報に当たるため、ここでは差し控えさせていただきます。

●教育長 休憩します。

●教育長 再会します。

●教育長 今回、翔洋高等学校が先ほどの話では、なっていたんですけれども、翔洋の普通科7名のみというところで、その辺が今回、話題になると思います、ご意見がありましたら伺えればと思います。

●濱委員 これは解決する方法は、難しいですよ。結局は、生徒

●**濱委員** の意向、希望なんで、いくら周りが言っても、それがあ
から難しい問題だなと思うけど、どうやったら良いのかな
と思います。町外から人を呼ぶって、頑張っても、肝心の
町内の生徒が、希望しない学校という現状は、どうなのかな
っていう気がします。果たしてこれが、地元に残すことが、親とい
うか、年配の人のエゴなのかなとい
う気もしていて、そこまでして高校を残して、意味がある
のか、どうなのかっていうのを考えさせられる進路志望状
況の結果だという感想です。

残してほしいとは、すごく思うし、絶対残すべきだとは
思うんだけど、実際はどうなんだろうっていうのを考えさ
せられたなという、そういう感想を持ちました。

●**教育長** せっかくの機会ですが、感想でも構いませんので、一言
お願いしたいんですけども。田辺委員。

●**田辺委員** 説明の中で、これから最終的にどういう風に変動がある
のかとも思いますが、今、濱委員のほうからも言っていた
けれども、海洋資源科のほうが、厚岸町の地元の人がゼロ
というのがね。果たして、地元にある第1次産業の水産と
いうものを考えた時に、地元で教育機関である高校、ここ
の存続というのは、非常に大きな意味があるんだろうとい
うようなことで、この存続にかけたいろいろな働きかけだ
とかを聞いているんですけども、こういう形で、地元がゼ
ロ、地元の人が入らないところに他の地方から入ってくる
魅力ってあるのかなというね、疑問もちょっと考えさせら
れるような状況になるのかなと。そういうのが懸念されま
すね。

●田辺委員　やはり地元、観光でも何でもそうなんだけど、地元の人達が魅力感じられないところに、他からの人に魅力感じてよって言っても説得力に欠けてしまうのかな、という数字が懸念されるっていうのがありますよね。

かと言って首に縄をつけて引っ張って来るわけにはいかないんでしょうけれども、なんとか地元にいる子供達に厚岸にある高校の魅力っていうのを、もう少し高めるような取組ができればなど。これは感想ですけども。以上です。

●濱委員　一生懸命やってるような感じしてたんですけどね。積極的に翔洋高校。だから、その結果がこれだから、ちょっと考えさせられますね。大人達や子供達のものにもどう感じ取られているかと考えさせられる内容ですね。自分も絶対、厚岸に高校は必要だと思う。今、田辺委員が言ったとおり、地元の産業を考えたら、絶対、なくてはならないと。私達は思ってるけど、意外とそうでもないのかもしれないなっていう。多分、意外と親とかが、漁師をやっている子供がいるかわからないけど、親の働きかけも意外とないのかなって思ったり、いろいろ考えさせられる結果だなっていうのは、単純に思いました。

●教育長　森脇委員。

●森脇委員　高校の海洋資源科の話だったんですけど、実際、この高校の魅力、ここに行きたいのと、町の魅力っていうのかな、イコールものだと私は思っているんですよ。

子供達がこの町の学校に行きたい、大人もこの、釧路が

●森脇委員 いいんじゃないのって言うってしまうような状況っていうのがあって、全体的に、漁師さんも、ここに行かなくてもいいという、選択をしていることなんで、高校もそうだし、この町全体の魅力っていうのかな。

この町でこう、学びたいっていう魅力がっていう、高校だけの問題じゃないと私は思っているんですね。

難しいと思うんですけども、やっぱり町に、大人も中学生の子どもも、ここで学びたいという気持ちが必要かなと思っています。高校は、町にあったほうがいいと思っています。

高校の先生達も頑張ってる、子供達もすごく忙しくして頑張ってることは、わかっているんですけど、ちょっと、閉鎖的なところがあると思っています。

それは、外側の子ども達には伝わらない。町内の人達には、伝わっていて、ちょっと外に出て行きたいなって気持ちを聞くので。

ちょっと、話をまとめていくんですけど、町も高校もそこに住んでる大人も厚岸の町でこうやっていきたいっていう魅力を持てるようなプランを作らないとだめなのかなって思ってます。

実際やっぱり、高校はやっぱり最後のまであったほうがいいなと私は思っています。

●教育長 成澤委員

●成澤委員 翔洋高校は、去年、いろんなプロジェクト、いろいろ見に行かせていただいたりとか、いろんな発表を見て、とても素晴らしいって言うか、いろんな実験とかが面白そうだ

●成澤委員 なっていう感じを受けました。

子供達にとってみると、今は、いろいろ人間関係とかもあるのか、選ぶ、普通に通うのじゃなくて、ネットの高校とかも増えて、そこを選ぶ子も結構、増えてきてるのかなって印象があります。とりあえず1回、外に出てみたいとか、人間関係で疲れちゃうっていうことも、あるのかなとは思ってるんですけど、でも、1回出てみたいって言って、出てみて、やっぱり厚岸好きだから戻ってきたいっていう声も結構聞いたりもするので、今までやってきたことっていうのは、良いことだと思うんです。

去年とかもやって、とても魅力のあることって、私は、感じていたんですけど。ただ、漁師さんとかは、楽観的な捉え方になるかもしれないですけど、ちょうど、今年の子供達で、漁師さんの子が少なかったとか、そういうのもあるのかなって勝手に、すごい無責任な感じで捉えています。

来年は、今まで、やってきた活動をやっぱり、続けていってほしいなっていうのと、子供達が少なくなってきたっていうのもあるので、何とも言えないんですけど、存続していってほしいんです。

けど、そんな大人数っていうのは、無理なのかなって言う。諦めたくはないんですけど、存続していってほしいなっていう気持ちがあります。ただ、その免許、やっぱり海のいろんな免許が取れる高校で色んな勉強ができるっていうのは素晴らしいので、これからも町内、町内外発信して行けたらなど。今、私ができることと考えることは、それくらいかなと思っています。以上です。

●指導室長　今、委員の方々からお話いただいたこと、本当にごもつともだになっていうふうに思ってます、数字的などころですとか、本当に、この学校だけの問題ではなくて、その町全体としてのお話も本当にごもつともだになっていうふうに考えております。

その辺については、町で言うと、町長部局との連携っていうところもやっぱり必要になってくるでしょうし、我々、教育委員会で考えれば、前々からお話しております、翔洋高校の生徒さんの活躍する姿っていうのをやっぱり小中学生の子供達が見るような機会を作っていきたいと考えています。まだまだ、高校と連携して進めない駄目でしょうし、実は、12月19日、つい先日なんですけども、厚岸町の未来ミーティングって子供達の一つのテーマについて一緒に考えるってような会議がオンラインで今年度、初めてやったんですけども、そこで、翔洋高校の生徒会の生徒さん3名が司会進行ですとか、グループ協議の中心になって話を進めてくれたりとか、かなり中心に進めてくれたんですね。

そこに、小中学校の児童会、生徒会の子達が、しっかり乗かって、話をすすめるという場面があったんですけども、すごくいいですよ、翔洋高校の生徒さん。力もあります、正直。そんな姿をいろんな場面で見ることによって、小中学校の子供達が翔洋高校をひとつの進路の選択肢のひとつとしてしっかり認識できるような形に持っていくってというのが大事なんじゃないかなと思っております、そこから、まだまだ教育委員会も高校と連携を図りながら取り組みを進めていかないとダメだになっていうふうに感じています。

●**教育長** 海洋資源科がゼロなんですけども、外側から働きかけ方、管理課長の方でいろいろとやっているんで、その辺の状況を話していただいてもいいですか。

●**管理課長** それでは、私の方から翔洋高校に対する取組について、ちょっと、具体的なお話をさせていただきます。今年度、令和7年度の入学者につきましては、海洋資源科のほうが多くて、普通科が1桁という状況ではあったのですが、今回は、普通科を希望する方が増えてきたという感じですね。

教育委員会のほうとしては、高校への支援っていう形で、これまで地域みらい留学もそうなんですけれども、卒業生のコメントを5人くらいからいただいて、翔洋高校では、こういうことが楽しくて、こういうことを学んで、今こういう職についているという、実は、お便りみたいなものを下のロビーでも配布しているんですけども、そういうものを作成して町内の中学生全員に配布したり、あと近場では、釧路市内の中学校の方も、翔洋高校さんで出前の学校説明会とかを行い、お便りを配布をしてはしたんですけども、ちょっと残念な結果になっていたというところがあります。

先程、ちょっと、お話しさせていただいた、地域みらい留学の子供も含めですけども、普通科、海洋資源科関係なく、今年度、令和7年度において、1日体験入学生の参加者、これにつきましては、町内の中学生15人ということでありました。

全体としては41人。1日体験入学と、1日体験入学以外でも学校見学とかでも遠方の方も見られています。先程、

●管理課長 言ったように、厚岸町の中学生3年生15人、釧路市内5人、釧路町7人、鶴居村1人、根室市1人、羅臼町1人、その他の道央圏内からは5人、道外からは1人ということで、地域みらい留学の関係では想定ですけれども、これは6人ぐらいです。魅力を感じて、ただ、これにつきましては、普通科希望ではありません。全て、海洋資源科の調理コースという感じです。私どもも、いろいろできることは手を尽くしてはいるんですけれども、また、ちょっと方向を変えてやっぱり地元の子供達が、近郊、釧路市含めですけれども、ちょっと汽車通やバスで来る生徒も含め、来年度ちょっと方向性を変えて、ここら辺の子供を中心に、翔洋高校さんの魅力をどう発信するかという支援をしていきたいなと思ってます。地域みらい留学を2年やったんですけど、入ってきてる傾向にはあるんです。

ただ地元の子供に選ばれなければ元も子もないのかなっていう気もしますし、どんどん呼ぶのはいいんですけど、今度、寮の問題が出てくるんですよ。最大で18人しか入れないのにどうするんだとか。実際に、これは再来年、このままだったら溢れるんじゃないかってことで、今、高校さんと、寮以外に何かそういう寮的な子供を受け入れる体制ができないかということも協議を進めてますけれども、まず、第1は、地元の子供、総合計画でもありますけれど、地元の愛着ですよ、いかに愛着を持っていただいてっていうのがキーになるのかなと思いますし、来年度の教育行政執行方針にも、ふるさと教育っていうことで力を入れて、これを入れていくってこともあるんです。

やはり、いかにこの地元の子供達にこの厚岸に愛着を持って、さらには、翔洋高校の持つポテンシャルを、こうい

●**管理課長** うのがあるってことをアピールして、興味を持ってってもらおうといったことを、ちょっとやっていかなきゃダメかなと思っております。

●**教育長** 私からひとつ、翔洋高校なんとかっていうあたり、やはり、町長部局と一緒にやってかないと教育委員会の部署で何とかなっている話もないんですよ。

いろいろながら、今、外側に目を向けて、外側も入れていこうってことで、地域みらい留学を去年からやり始めました。周りの地域みらい留学で手を上げてる町村を見ると、1年目は、あまり成果が出ないって言われてたんですよ。ところが、うちは1年目からすぐ成果が出たんです。これを行なうところでの1番のポイントだったのは、外からの生徒が入ってくると、地元の子供達の選択刺激が加速するっていうことか、グラフとして出ていました。

他の町は、そうなんですよ。外から生徒が入ってくると、翔洋高校は良いねと言って、なら地元をというようになっていくところで、その成果が出るのが今回のはずだったんですよ。

ところが、今回成果が出なかったんです。これだけ、外から生徒が入ってきて、翔洋高校に入ろうかっていう選択に結びつかなかったところが、教育委員会としても驚きました。

先程、課長も言ったように、方向をちょっと変えていかないと、その全国的な傾向と、厚岸町の傾向とは、違うのではないかっていうことも考えていかなきゃいけないということがひとつ。

2つ目。この表を見てわかる通り、今の高校の選択って

●教育長

広がってきました。先ほどの定時制の話もそうなんですけど、限られたなかから選ぶというよりも、いろんな選択肢がありますよ。特に、中標津支援学校の下の札幌新陽、クランク国際、帯広北、いろんな子供達の状況に応じた選択肢が増えてきたので、そちらの数字がかなり伸びてきてるっていうのもあります。

だから、地元に行こうというだけではなくて、他のところに広げていこうという、これは子供から見れば、私は良い傾向なのかなっていうように思います。

ここしかないから、ここに行こうっていう選択ではなくて、自分がここに行きたいからという。そこは、環境は恵まれてきたなど。その分、翔洋高校が、しわ寄せが来てしまったのというのが2つ目。

3つ目。この世代の子供達は、少し学力は、テストを見たらちょっと高い。この前の報告書のように高いです。それと、自分はこのようにやっていこうという、先ほどの選択に、学力的に行けるっていうところも、挑戦として、あったのかなっていうのが3つ目です。

最後、これから、どうやっていくのかなんですが、町長部局との話をしながら役場全体の中で考えていかないと、町づくりの中での翔洋の位置付けをしっかりと考えていかないとならないなど。一方で入定員数が二間口80人というのが、今卒業生が55人に対して80人っていうのが本当に適正なのかっていうのは、必ず適正配置計画の中で求められます。

町長と教育長、市長と教育長が参加する適正配置計画の会議あります。その中で、毎年同じことを言ってるんですけども、厚岸の場合、北海道の産業の後継者を育ててい

●教育長

る、例えば農業とか漁業。そこが人数が少ないからといって減らす方向ってというのは、本当にいいんだろかと考えてくださいと。北海道として、その一次産業の後継者どう育てるんだ、高校がどいった位置付けなのかっていうのを考えていかないと、少ないから潰すっていうそういうのはかなり乱暴だと思うんですというような話をしています。

今回、そうは、いっても地元から海洋資源を選択してる人がいないじゃないか。というように、言われるのはもう目に見えます。

だから、ここは、他から来るっていうのもそうなんですけども、やはり、地元のここから選ばれていかないと後継者というところの、位置付けがどうしても薄くなるということがあります。

これから、変更は、あるかもしれませんが、大きくこれが倍増するかは、外から来るのは別として、地元の中校生で大きく変わるということは、あっても、2人とか3人とか最大限ということなので、厳しい状況は変わらないです。

やれることは、教育委員会としては、やってきたいなということはあるんですが、成果に繋がっていないという、整理をしています。

よろしいでしょうか。これ結論を出すとかということではないですけど。意見が皆さん出たので、他に質疑よろしいでしょうか。

なければ、これで報告第11号を終わります。

●教育長

次に、日程第6、議案第53号「厚岸町教育委員会に属する事務局職員の異動について」を議題といたします。職員

●教育長 は、提案理由と議案内容の説明をしてください。

●管理課長 ただ今上程いただきました、
議案第53号「厚岸町教育委員会に属する事務局職員の異動について」

その内容と提案理由についてご説明申し上げます。

議案書3ページをご覧ください。

厚岸町教育委員会職員の人事について決定いたしたく、
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項
第4号の規定により、本案を提出するものであります。

4ページの別紙をご覧ください。

退職予定者であります。厚岸町への出向。管理課主事の
飛山菜々であります。飛山主事につきましては、本年11
月4日付けで、自己都合による退職願が提出されましたの
で、厚岸町へ出向し、「令和7年12月31日付け」で退職と
なる予定となっております。

以上簡単であります。議案第53号「厚岸町教育委員会
に属する事務局職員の異動について」の提案理由とさせて
いただきます。

ご審議の上ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

●教育長 内容は「厚岸町教育委員会に属する事務局職員の異動に
ついて」であります。これから質疑を行います。

(ありません。の声)

●教育長 よろしいですか。なければ、本件を原案のとおり決定し

てよろしいですか。

●教育長 (異議なし。の声)

●教育長 それでは、そのように決定いたします。

●教育長 次に、議案第54号「厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令を定めることについて」を議題といたします。職員は、提案理由と議案内容の説明をしてください。

●管理課長 ただ今、上程いただきました、議案第54号「厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令を定めることについて」その提案理由と内容についてご説明申し上げます。

議案書5ページをお開き願います。

厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程において、教育委員会事務局の職名及び定数、教育機関の施設ごとの職名及び定数を規定しており、人事異動や組織見直しによりその定数等に変更が生じるときに改正をしております。

改正内容につきましては、別にお配りしております議案第54号説明資料「厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令新旧対照表」でご説明いたします。

厚岸町教育委員会の定数は、厚岸町職員定数条例第2条に規定する別表により37名とされております。

この度の令和7年12月31日付け人事異動により、管理課

●管理課長 が退職することから、

厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程に規定している「1 教育委員会事務局」欄の「主査・主任・主事を2」に、「計を10」に改正する内容であります。

附則であります。この訓令は、令和8年1月1日から施行するものであります。

以上簡単ですが、議案第54号「厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令を定めることについて」のご説明とさせていただきます。

ご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げます。

●教育長 内容は「厚岸町教育委員会事務局及び教育機関の職別定数規程の一部を改正する訓令を定めることについて」であります。これから質疑を行います。

●教育長 (ありません。の声)

●教育長 なければ、本件を原案のとおり決定してよろしいですか。

(異議なし。の声)

●教育長 それでは、そのように決定いたします。

●教育長 次に、議案第55号「厚岸町環境推進委員会委員の委嘱について」を議題といたします。職員は、提案理由と議案内容の説明をしてください。

●指導室長 ただ今上程いただきました、議案第55号「厚岸町環境教育推進委員会委員の委嘱について」、提案理由とその内容についてご説明申し上げます。

議案書7ページをご覧ください。

令和7年4月1日より委嘱された委員について、厚岸町役場職員 環境林務課長 鈴木康史氏が令和7年10月1日付け人事異動で保健福祉課へ異動となり、後任として江上圭氏が就任されたため、厚岸町環境教育推進委員会設置要綱第3条第1項の規定により新たに委嘱いたしたく、本案を提出するものであります。

氏名等でございます。厚岸町役場職員、江上圭委員、環境林務課長、任期については、令和7年10月1日から令和8年3月31日までとなっております。

以上、簡単な説明でございますが、議案第39号「厚岸町環境教育推進委員会委員の委嘱について」の説明とさせていただきます。ご審議の上ご承認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●教育長 内容は「厚岸町環境推進委員会委員の委嘱について」であります。これから質疑を行います。

(ありません。の声)

●教育長 なければ、本件を原案のとおり決定してよろしいですか。

(異議なし。の声)

●教育長 その他、総体的に何かございますか。森脇委員。

●森脇委員 教育委員会に限った話ではないと思いますが、役場の若い方々がどんどん辞めて行っているのかなと思っていません。

 今回もまた減るのかなと思っていますが、これは、先ほどの高校の話ではありませんが、町からやっぱり出ていく人が多いです。これだけじゃなくて、大人でも、今、若い人が仕事を選び、出ていくのがあって、とても気になっていました。

 これは、働いている人の、魅力的な職場ということ。いろいろな条件があると思いますが、仕事の内容や給料かもしれないですけど、教育委員会のだけではなく上にあげて欲しいと思うのですが、もっと、若い職員が残るような形の職場ではないと、町全体だめなんじゃないかと思っています。

 ここでは、どうこうは、できないですけど、働く人が、ここで働きたいなとという形になるような、給料なのか、仕事内容なのか、町の雰囲気なのか、いろいろあると思いますが、教育委員会と町と両方で考えていただかないとだめなのかなと思います。いつも人が減ってく時に、と思っています。これを1つの意見としてお伝えしたいんですけど、よろしくお願いします。

●管理課長 その他ということで、私のほうから回答させていただきます。

 今回、管理課職員ということで、私の力不足かなと正直、思ってます。

●管理課長 これから、こういう職員、森脇委員がおっしゃられるようにですね、選り放題という、まだ若い方で係長職ですね、今、辞めて他の自治体に入るとか、他の企業に入るといった方がいらっしゃいます。

退職される際には、なんで辞めるのかというのは聞いて、正直、理由を話さないのがほとんどです。理由は正直に言いにくいと思っています。特に、職場の雰囲気が悪ければ、なおさらです。

他の職員についても現在、相談を受けている状況ではありますが、やはり、人それぞれ感じ方や能力の問題、できる、できない、それも含めて職場の雰囲気ですよ。

今は、少し注意をただけで、パワハラだなんて言われたりですね、ビクビクしながら、仕事をしてはいますが、なるべく、そういうように誰かから、きつく言われた時にもフォローする体制っていうのは、聞いてないようで実は、聞いてます。見てないようで見てます。

やはり、日頃からの職員に対する、目配り気配りが、我々、管理職に求められているのかなと思っています。やはり、職場の雰囲気が悪くて辞めるっていうのは、最悪だと思いますね。

それは何としても避けて行きたい。やはり、きついことを言うこともあります。それは、当然かなと思います。なるべくでしたら職員との日頃からの、声かけですとか、様子見、変だなと思ったら、声かけをすとかと思っています。

我々もなるべくでしたら、一緒に働く、せつかくのご縁ですから、相談受けた時は、一回考えないか。だとか、そういうフォローじゃないですけど、その辺は、行なって

●管理課長 いますので、ご理解ください。

●森脇委員 はい、もちろんです。今、どこの町も人をキープするための動きに入ってきていると。

人材が出ていかないような、なるべく、良い条件でというのが聞こえて、最初は、もちろん人が入ってこないですけど、やっぱりこの役場が、こういうように出ていくってなると、ちょっと、町の魅力じゃないけど、まずいのかと思っています。

だからとりあえず、給与も他の町のといろいろ聞くと、差があると聞いています。だから、辞める人に聞くとそっちの方がいいんだよねみたいなのは聞くので、最低限の魅力的な部分はやっぱり残して、人を採用しないと残っていかないんじゃないかと思っています。町の人々の雰囲気とかだけじゃなくて、基本的な部分があるのかなと思って聞いていました。

そうですね、やっぱり、あまり辞めない方がいいかと、ここだけじゃないんですよ、全体の話で見ているので、是非よろしくをお願いします。

先ほどの翔洋高校の話も、突き詰めるとその町の魅力だとか、人だとか、職場だとかそういうところに繋がってくるかもしれないと思います。

はい。もちろん、特効薬はないですし、これだっていう、根本的なものなんですけども、ただ手をこまねいていても、それは時間が過ぎていくだけなので、まず、地域みら留学やってみようとか、何かをやってみようとかって、色んな手は打つんですけど、まだまだ成果の結びついてはいない。全体的な成果には結びついてはいないんですけど

も。でも、この歩みは止めないようにしっかりやっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

●教育長 よろしいでしょうか。

(ありません。の声)

●教育長 以上で、本日の会議日程は全て終了しました。
これをもちまして、第16回教育委員会を閉会します。

次のように会議の次第を記載し、ここに署名する。

令和7年12月23日

教 育 長 _____

署 名 委 員 _____

会 議 録 作 成 者 _____